

令和5年度使用広島市立高等学校
中等教育学校（後期課程）用
教科用図書に係る学校別選定手順、
選定資料及び申請書等

(様式1)

令和4年 7月12日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 徳丸 憲之

令和5年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書選定手順（報告）

| 月 日 (曜日) | 選 定 手 順 の 内 容 |
|-------------|--|
| 6月 1日 (水) | <ul style="list-style-type: none">令和5年度使用高等学校・中等教育学校用教科用図書採択事務説明会に出席する。 |
| 6月 2日 (木) | <ul style="list-style-type: none">校長は、校内における令和5年度使用教科用図書選定に係る事務の推進を行うため「令和5年度使用教科用図書選定委員会」を設置する。校長は、選定委員を委嘱または任命する。校長は、調査員を任命する。 |
| 6月 6日 (月) ~ | <ul style="list-style-type: none">選定委員会において、教科用図書選定が適正かつ公正に行われるよう協議し、調査の観点及び視点を決定する。選定委員会は、調査員に教科用図書を調査する観点及び視点を示す。 |
| 6月 6日 (月) ~ | <ul style="list-style-type: none">調査員は、選定委員会の依頼に基づき、教科書目録に記載されている教科用図書について、調査研究を行う。調査員は、調査結果を選定委員に報告する。 |
| 7月 6日 (水) | <ul style="list-style-type: none">選定委員会を開催し、令和5年度使用教科用図書について審議し、その結果を校長に答申する。 |
| 7月 7日 (木) | <ul style="list-style-type: none">校長は、選定委員会からの答申に基づき、令和5年度使用教科用図書申請書を作成する。 |
| 7月12日 (火) | <ul style="list-style-type: none">校長は、広島市教育委員会へ、令和5年度使用教科用図書申請書を提出する。 |

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 徳丸 憲之

令和5年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書選定資料(報告)

1 学校の特徴

学術や芸術文化の習得と探究を通じて、自己の能力と人格を主体的に磨き、優れた知性と品格、生涯にわたって学び続ける力を身につけることにより、多様化が進む時代の中で、人類の幸福に貢献する崇高な志と未来を切り拓く豊かな創造力を持った有為な人物の育成に努めている。

普通科普通では、基礎的な知識・技能、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、主体的に学ぶ態度をバランスよく育成する。さらに、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、各教科等で身につけた資質・能力を活用し、自ら問いを見出し探究することのできる力を育成することを目指している。

普通科創造表現コースでは、「国際平和文化都市」広島で学ぶ高校生として、未来の文化を創造し、表現活動を通して個性を磨き、国際社会が求める創造的な人材を育成することを目指している。

2 生徒の実態

普通科普通は、県内広域から高い学力を有した生徒が入学してきている。難関国公立大学への進学希望が多く、近年は、最難関大学・医学系への進学希望者が増加している。授業や家庭学習において自ら意欲的に学習に取り組んでおり、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得はもとより、それらを活用して、難易度の高い発展的な内容の学習を希望する生徒が多くいる。

普通科創造表現コースは、県内広域から美術に興味を持ち、高い技術を有した生徒が入学してきている。多くの生徒が4年制の美術系大学への進学を希望している。生徒は、進路実現や学力向上への意欲が高く、基礎的な学力の定着と美術の専門的な技能等の向上の両立に向け積極的に努力している。

3 調査の観点及び視点

| | 観点 | 視点 |
|---|---------------|--|
| ① | 基礎・基本の定着 | ○単元の目標及びまとめの示し方 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫 |
| ② | 主体的に学習に取り組む工夫 | ○問題解決的な学習を実施するための工夫 ○興味・関心を高めるための工夫 |
| ③ | 内容の構成・配列・分量 | ○年間の学習内容の見通しのもとせ方 ○単元や資料等の配列 ○系統性と反復性の工夫 |
| ④ | 内容の表現・表記 | ○挿絵・写真等の活用 ○巻末資料の示し方 ○配色や文字の大きさ等の工夫 |
| ⑤ | 言語活動の充実 | ○学校図書館機能の活用 ○ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫 |
| ⑥ | 発展的内容の充実 | ○発展的な学習内容の扱い方 ○発展的な内容の配列・表記等 |

(様式3)

令和4年7月12日

広島市教育長 様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 徳丸 憲之

令和5年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その1)

| 学 年 | 教科名 | 科目名 | 新規の 選定 | 発行者の 番号、略称 | 教科書の 記号、番号 | 書 名 | 観点の評価 | | | | 選定 | 選 定 の 理 由 |
|-----|-----|-------|-----------|---------------|---------------|--------------|-------|------|-----|-----|----|---|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現等 | | |
| 1 | 国語 | 現代の国語 | | 183 第一 | 現国 713 | 高等学校 現代の国語 | | ○ | ◎ | | ○ | 生徒が見通しを持って学習に取り組むことができるよう、各単元に単元の学習目標、各教材の始めに学習のねらいを掲載している。 |
| | | | | 2 東書 | 現国 702 | 精選現代の国語 | | | | | ○ | |
| 1 | 国語 | 言語文化 | | 2 東書 | 言文 702 | 精選言語文化 | | ◎ | ○ | | ○ | |
| | | | | 183 第一 | 言文 713 | 高等学校 言語文化 | | ○ | | | | |
| 2 | 国語 | 論理国語 | 新規 | 117 明治 | 論国 709 | 精選 論理国語 | | ◎ | ○ | | ○ | 生徒の興味・関心を高めることができるよう、「書くこと」や「読むこと」の領域に関連した内容のコラムを示した「論理の窓」や「表現の窓」を掲載している。 |
| | | | | 212 桐原 | 論国 713 | 探求 論理国語 | | ○ | | | | |
| 2 | 国語 | 古典探究 | 新規 | 50 大修館 | 古探 706 | 古典探究 古文編 | | ○ | ○ | | ◎ | 本文を理解した上で、テーマを決めて探究したりする発展的な学習に取り組むことができるよう、「探究」を設けている。 |
| | | | | 117 明治 | 古探 713 | 精選 古典探究 古文編 | | ○ | | | | |
| 2 | 国語 | 古典探究 | 新規 | 50 大修館 | 古探 707 | 古典探究 漢文編 | | ○ | ○ | | ◎ | 本文を理解した上で、テーマを決めて探究したりする発展的な学習に取り組むことができるよう、「探究」を設けている。 |
| | | | | 117 明治 | 古探 714 | 精選 古典探究 漢文編 | | ○ | | | | |
| ③ | 国語 | 現代文B | | 15 三省堂 | 現B 323 | 高等学校現代文B 改訂版 | | ○ | ○ | | ◎ | 発展的な内容を学習することができるよう、教材が描かれた文化的背景をまとめた「現代評論を読むために」を設けている。 |

(様式3)

令和4年7月12日

広島市教育長 様
(学校教育指第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 徳丸 憲之

令和5年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その2)

| 学 年 | 教科名 | 科目名 | 新規の 選定 | 発行者の 番号、略称 | 教科書の 記号、番号 | 書 名 | 観点の評価 | | | | 選定 | 選 定 の 理 由 | |
|--------|------|------|-----------|-----------------------|------------------------|---------------------------------|-------|------|-----|-----|----|-----------|--|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現等 | | | 資料等 |
| ③ | 国語 | 古典B | | 2 東書 | 古B 331 | 精選古典B 古文編 | ○ | ○ | ◎ | | | ○ | 生徒が見通しを持って学習に取り組むことが とができるよう、教材ごとの課題を整理し た「学習の手引き」を設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 国語 | 古典B | | 2 東書 | 古B 332 | 精選古典B 漢文編 | ○ | | ◎ | | | ○ | 生徒が見通しを持って学習に取り組むことが とができるよう、教材ごとの課題を整理し た「学習の手引き」を設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 地理歴史 | 地理総合 | 新規 | 46 帝国 130 二宮 | 地総 707 地総 704 | 高校生の地理総合 地理総合 世界に学び地域へつなぐ | ◎ | | ○ | | | ○ | 生徒が主体的に学習に取り組むことが できるよう、学習事項を活用して生徒自 身の思考を促す「アクティビティ」を設け ている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 地理総合 | 地理総合 | | 46 帝国 130 二宮 | 地図 702 地図 705 | 新詳高等地図 詳解現代地図 最新版 | ◎ | | ○ | | | ○ | 生徒が興味・関心を持って学習に取り組む ことができるよう、地図の読み解きを促 す「読図」を設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 地理歴史 | 地理総合 | 新規 | 46 帝国 130 二宮 | 地総 707 地総 704 | 高校生の地理総合 地理総合 世界に学び地域へつなぐ | ◎ | | ○ | | | ○ | 生徒が主体的に学習に取り組むことが できるよう、学習事項を活用して生徒自 身の思考を促す「アクティビティ」を設け ている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 地理総合 | 地理総合 | 新規 | 46 帝国 130 二宮 | 地図 702 地図 705 | 新詳高等地図 詳解現代地図 最新版 | ◎ | | ○ | | | ○ | 生徒が興味・関心を持って学習に取り組む ことができるよう、地図の読み解きを促 す「読図」を設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |

(様式3)

令和4年7月12日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 徳丸 憲之

令和5年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その3)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新規の選定 | 発行者の番号、略称 | 教科書の記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|------|-----------|-------|-----------|-----------|------------------------|-------|------|-----|------|----|--|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | | |
| 1 | 地理歴史 | 歴史総合 | | 81 山川 | 歴総 708 | 現代の歴史総合 みる・読みとく・考える | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | 生徒が興味・関心を持って主体的に取り組むことができるよう、写真、図版、グラフなどを多数掲載し、それぞれに学習テーマに沿った問いを設けている。 |
| | | | | 81 山川 | 歴総 707 | 歴史総合 近代から現代へ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 地理歴史 | 歴史総合 | 新規 | 81 山川 | 歴総 709 | わたしたちの歴史 日本から世界へ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | 発展的な内容を学習することができるよう、資料から情報を読みといて考察し、思考力・判断力・表現力を高める「読み」として「みよう」を適宜設けている。 |
| | | | | 7 美教 | 歴総 704 | 歴史総合 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 地理歴史 | 日本史探 究 | 新規 | 81 山川 | 日探 705 | 詳説日本史 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 発展的な内容を学習することができるよう、学習内容を活用してさらに深い考察へと導くための「深める」を適宜設けている。 |
| | | | | 81 山川 | 日探 706 | 高校日本史 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 地理歴史 | 世界史探 究 | 新規 | 2 東書 | 世探 701 | 世界史探究 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 発展的な内容を学習することができるよう、学習内容を活用してさらに深い考察へと導くための「深める」を適宜設けている。 |
| | | | | 81 山川 | 世探 704 | 詳説世界史 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | 地理歴史 | 世界史B | | 2 東書 | 世B 308 | 世界史B | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 発展的な内容を学習することができるよう、学習内容を活用してさらに深い考察へと導くための「深める」を適宜設けている。 |
| | | | | 81 山川 | 世B 310 | 詳説世界史 改訂版 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ③ | 地理歴史 | 世界史研 究 | | 2 東書 | 世B 308 | 世界史B | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 発展的な内容を学習することができるよう、学習内容を活用してさらに深い考察へと導くための「深める」を適宜設けている。 |

(様式3)

令和4年7月12日

広島市教育長 様
(学校教育指導第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 徳丸 憲之

令和5年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その4)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新編の選定 | 発行者の番号、略称 | 教科書の記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|------|-------|-------|-----------------------|------------------------|----------------------|-------|------|-----|-----|----|---|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現等 | | |
| 3 | 地理歴史 | 日本史B | | 81 山川 | 日B 309 | 詳説日本史 改訂版 | ◎ | ○ | | | ○ | 生徒が史料を通して歴史的事象を考察することができるように、関連する史料を原文で適宜掲載している。 |
| | | | | | | | ○ | ○ | | | | |
| ③ | 地理歴史 | 日本史研究 | | 81 山川 | 日B 309 | 詳説日本史 改訂版 | ◎ | ○ | | | ○ | 生徒が史料を通して歴史的事象を考察することができるように、関連する史料を原文で適宜掲載している。 |
| | | | | | | | ○ | ○ | | | | |
| 3 | 地理歴史 | 地理B | | 46 帝国 130 二宮 | 地B 304 地B 305 | 新詳地理B 新編 詳解地理B改訂版 | ◎ | ○ | | | ○ | 生徒が興味・関心を持って学習に取り組むことができるよう、図表の読み解きの視点を示した「読図」を設けている。 |
| | | | | | | | ○ | ○ | | | | |
| ③ | 地理歴史 | 地理B | | 46 帝国 | 地図 310 | 新詳高等地図 | ◎ | ○ | | | ○ | 生徒が興味・関心を持って主体的に学習に取り組むことができるよう、主題図や資料をもとに考察する課題を適宜設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 地理歴史 | 地理研究 | | 46 帝国 | 地B 304 | 新詳地理B | ◎ | ○ | | | ○ | 生徒が興味・関心を持って主体的に学習に取り組むことができるよう、主題図や資料をもとに考察する課題を適宜設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 地理歴史 | 地理研究 | | 46 帝国 | 地図 310 | 新詳高等地図 | ◎ | ○ | | | ○ | 生徒が興味・関心を持って主体的に学習に取り組むことができるよう、主題図や資料をもとに考察する課題を適宜設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | |

(様式3)

令和4年7月12日

広島市教育長様
(学校教育指導第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 徳丸 憲之

令和5年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その5)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新規の選定 | 発行者の番号、略称 | 教科書の記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | 選定 | 選定の理由 | |
|----|-----|-------|-------|-----------|-----------|----------------|-------|------|-----|------|----|-------|--|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現記法 | | | 習熟活動 |
| 2 | 公民 | 公共 | 新規 | 183 第一 | 公共 710 | 高等学校 公共 | | ○ | | | ○ | 選定 | 発展的な内容に生徒が主体的に取り組むことができるよう、公共の見方・考え方や選択・判断の手がかりとなる考え方を、用いて考察させる課題探究活動の「ケーススタディ」を設けている。 |
| | | | | 104 数研 | 公共 713 | 新版 公共 | | | | | | ○ | |
| 3 | 公民 | 公民総合 | | 2 東書 | 倫理 311 | 倫理 | | ○ | | | | 選定 | 発展的な内容に生徒が主体的に取り組むことができるよう、各章や節で思想史の流れや哲学的な概念をおさえるためのポイントに波線がつけてある。 |
| | | | | 35 清水 | 倫理 308 | 高等学校 新訂版 | | | | | | ○ | |
| 3 | 公民 | 公民総合 | | 2 東書 | 政経 311 | 政治・経済 | | ○ | | | | 選定 | 発展的な内容に生徒が主体的に取り組むことができるよう、適宜「節のまとめ」・「課題」を設けている。 |
| | | | | 7 実教 | 政経 312 | 高校政治・経済 新訂版 | | | | | | ○ | |
| 1 | 数学 | 数学 I | | 104 数研 | 数 I 712 | 数学 I | | ○ | | | | 選定 | 学習事項を発展させ、生徒が興味・関心に応じて探究的な学習ができるよう、巻末に7テーマ計28題の「課題学習」を設けている。 |
| | | | | 2 東書 | 数 I 701 | 数学 I Advanced | | | | | | ○ | |
| 1 | 数学 | 数学 I | | 104 数研 | 数 I 713 | 高等学校 数学 I | | ○ | | | | 選定 | 生徒が系統性をもって学習を進めることができるよう、内容の理解を深めるための問題を「深める」として適宜設けている。 |
| | | | | 61 啓林館 | 数 I 710 | 新編数学 I | | | | | | ○ | |
| 1 | 数学 | 数学 II | | 104 数研 | 数 II 709 | 数学 II | | ○ | | | | 選定 | 学習事項を発展させ、生徒が興味・関心に応じて探究的な学習ができるよう、巻末に6テーマ計24題の「課題学習」を設けている。 |
| | | | | 2 東書 | 数 II 701 | 数学 II Advanced | | | | | | ○ | |

(様式3)

令和4年7月12日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 徳丸 憲之

令和5年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その6)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新規の選定 | 発行者の番号、略称 | 教科書の記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|-----|-------|-------|-----------|-------------|----------------|-------|------|-----|------|----|--|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | | |
| ② | 数学 | 数学II | | 104 数研 | 数II 709 | 数学II | ○ | ○ | ○ | | ◎ | 学習事項を発展させ、生徒が興味・関心に応じて探究的な学習ができるよう、巻末に6テーママ計24題の「課題学習」を設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 数学 | 数学III | 新規 | 104 数研 | 数III 708 | 数学III | ○ | ○ | ○ | | ◎ | 学習事項を発展させ、生徒が興味・関心に応じて探究的な学習ができるよう、巻末に5テーママ計15題の「課題学習」を設けている。 |
| | | | | 2 東書 | 数III 701 | 数学III Advanced | | | | | | |
| ③ | 数学 | 数学III | | 104 数研 | 数III 322 | 改訂版 数学III | ○ | ◎ | ○ | | ○ | 学習内容の定着を確認できるよう、節末問題は参考となる問題番号を付している。また、章末問題は、その章の復習問題をA、総合的な問題をBと分類して示している。 |
| | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 数学 | 数学A | | 104 数研 | 数A 712 | 数学A | ○ | ◎ | ○ | | ○ | 学習内容の定着を確認できるよう、節末問題は参考となる問題番号を付している。また、章末問題は、その章の復習問題をA、総合的な問題をBと分類して示している。 |
| | | | | 2 東書 | 数A 701 | 数学A Advanced | | | | | | |
| 2 | 数学 | 数学A | 新規 | 104 数研 | 数A 713 | 高等学校 数学A | ○ | ◎ | ○ | | ○ | 別の方法で考えてみる、理由を説明するなど、系統立てた理解に繋がるための「深める」を適切な場面で設けている。 |
| | | | | 61 啓林館 | 数A 710 | 新編数学A | | | | | | |
| 2 | 数学 | 数学B | 新規 | 104 数研 | 数B 710 | 数学B | ○ | ○ | ○ | | ◎ | 発展的な内容を学習することが出来るよう、本文に関連する程度の高い内容である「研究」や「発展」を設けている。 |
| | | | | 2 東書 | 数B 701 | 数学B Advanced | | | | | | |

(様式3)

令和4年7月12日

広島市教育長様
(学校教育指第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 徳丸 憲之

令和5年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その7)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新規の選定 | 発行者の番号、略称 | 教科書の記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|-----|---------|-------|-----------|-----------|--------------|-------|------|-----|------|------|----|--|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | 評価活動 | | |
| 2 | 数学 | 数学C | 新規 | 104 数研 | 数C 708 | 数学C | | ○ | ○ | | | ◎ | 発展的な内容を学習することが出来るよう、本文に関連する程度の高い内容である「研究」や「発展」を設けている。 |
| | | | | 2 東書 | 数C 701 | 数学C Advanced | | | ○ | | | ○ | |
| ② | 数学 | 数学演習 α | | 104 数研 | 数I 713 | 高等学校 数学 I | | ○ | ◎ | | | ○ | 生徒が系統性をもって学習を進めることができるよう、内容の理解を深めるための問題を「深める」として適宜設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 数学 | 数学演習 A | | 104 数研 | 数B 325 | 改訂版 数学B | | ○ | ○ | | | ◎ | 学習内容の確実な定着を図るとともに発展的な内容まで学習することができるよう、章末問題は難易によってAとBに分類して示している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 数学 | 数学演習 B | | 104 数研 | 数B 325 | 改訂版 数学B | | ○ | ○ | | | ◎ | 学習内容の確実な定着を図るとともに発展的な内容まで学習することができるよう、章末問題は難易によってAとBに分類して示している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 数学 | 数学演習 β | | 104 数研 | 数A 328 | 改訂版 高等学校 数学A | | ○ | ○ | | | ◎ | 学習内容の理解を深めることができるよう、本文の内容に関連する程度の高い内容を「発展」と分類して示している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 理科 | 科学と人間生活 | | 61 啓林館 | 科人 703 | 高等学校 科学と人間生活 | | ○ | ◎ | | | ○ | 生徒の興味・関心を高めることができるよう、テーマごとに簡単な実験や観察・調査を扱った「やってみよう」や、学習内容に関連した話題をイラスト付きでとり上げた「TOPIC」を設けている。 |
| | | | | 183 第一 | 科人 705 | 高等学校 科学と人間生活 | | | | | | | |

(様式3)

令和4年7月12日

広島市教育長様
(学校教育指導第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 徳丸 憲之

令和5年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その8)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新規の選定 | 発行者の番号、略称 | 教科書の記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|-----|------|-------|-----------|-----------|---------------|-------|------|-----|----------|----|---|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現及び言語活動 | | |
| 1 | 理科 | 物理基礎 | | 183 第一 | 物基 709 | 高等学校 物理基礎 | ◎ | ○ | | | ○ | 基礎・基本の定着を図ることができるよう、学習事項のまとめとともに具体的な例について詳しく解説した「特講」を設けている。 |
| | | | | 104 数研 | 物基 707 | 物理基礎 | ○ | ○ | | | | |
| 2 | 理科 | 物理 | 新規 | 183 第一 | 物理 709 | 高等学校 物理 | ○ | ○ | | | ◎ | 発展的な内容を学習することができるよう、学習事項を応用した内容について詳しく解説した「チャレンジ」を設けている。 |
| | | | | 104 数研 | 物理 706 | 物理 | | ○ | | | | |
| ③ | 理科 | 物理 | | 183 第一 | 物理 316 | 高等学校 改訂 物理 | ○ | ○ | | | ◎ | 発展的な内容を学習することができるよう、学習事項を応用した内容について詳しく解説した「チャレンジ特講」を設けている。 |
| 2 | 理科 | 化学基礎 | 新規 | 61 啓林館 | 化基 706 | 高等学校 化学基礎 | ◎ | ○ | | | ○ | 基礎・基本の定着を図ることができるよう、学習課題を解決したり、理解を深める「探究」や「ケミ探 探究問題」を適宜設けている。 |
| | | | | 7 実教 | 化基 703 | 化学基礎 academia | ○ | ○ | | | | |
| 2 | 理科 | 化学 | 新規 | 61 啓林館 | 化学 705 | 高等学校 化学 | ○ | ○ | | | ◎ | 発展的な内容を学習することができるよう、日常的な化学反応や状態変化を理論的に扱った「大学への化学」を設けている。 |
| | | | | 7 実教 | 化学 703 | 化学 academia | ○ | | | | | |
| ③ | 理科 | 化学 | | 61 啓林館 | 化学 312 | 化学 改訂版 | ○ | ○ | | | ◎ | 発展的な内容を学習することができるよう、学習事項を裏付ける実験や法則について詳しく解説した「発展」を設けている。 |

(様式3)

令和4年7月12日

広島市教育長様
(学校教育指第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 徳丸 憲之

令和5年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その9)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新編の選定 | 発行者の番号、略称 | 教科書の記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|-----|------|-------|-----------|-----------|--------------|-------|------|-----|----------|----|--|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現及び評価活動 | | |
| ③ | 理科 | 化学演習 | | 61 啓林館 | 化基 318 | 化学基礎 改訂版 | ○ | ○ | | | ◎ | 発展的な内容を学習することができるよう、本文の内容に関連する解説を示した「参考」を適宜設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 理科 | 生物基礎 | | 183 第一 | 生基 710 | 高等学校 生物基礎 | ○ | ◎ | | | ○ | 生徒の興味・関心を高めることができるよう、学習内容と関連した写真とキーワードを複数掲載した「Photo Gallery」を設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 理科 | 生物 | 新規 | 183 第一 | 生物 705 | 高等学校 生物 | ○ | ○ | | | ◎ | 発展的な内容を学習することができるよう、観察・実験による結果を読み取り、考察することで、思考力・判断力・表現力を伸ばす「特講」を適宜設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 理科 | 生物基礎 | | 183 第一 | 生基 318 | 高等学校 改訂 生物基礎 | ◎ | ○ | | | ○ | 基礎・基本の定着を図ることができるよう、単元の目標を示した「学習のめあて」を設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 理科 | 生物 | | 104 数研 | 生基 316 | 改訂版 生物基礎 | ○ | ○ | | | | 発展的な内容を学習することができるよう、日常生活と関連させた「参考+α」や、研究の歴史をまとめた「参考研究史」を設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 理科 | 生物演習 | | 183 第一 | 生基 318 | 高等学校 改訂 生物基礎 | ○ | ○ | | | ◎ | 発展的な内容を学習することができるよう、学習事項を深めた「発展」や日常生活と関連させた「参考+α」を設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | |

(様式3)

令和4年7月12日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 徳丸 憲之

令和5年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その10)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新規の選定 | 発行者の番号、略称 | 教科書の記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|------|------|-------|-----------|------------|-----------------------------|-------|------|-----|------|------|----|---|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | 習熟活動 | | |
| 2 | 理科 | 地学基礎 | 新規 | 61 啓林館 | 地基 703 | 高等学校 地学基礎 | ○ | ◎ | | | ○ | 選定 | 生徒の興味・関心を高められること、日常生活や他教科の内容と関連した話題を扱った「トピック」を適宜設けている。 |
| | | | | 104 教研 | 地基 704 | 高等学校 地学基礎 | ○ | ○ | | | | | |
| ③ | 理科 | 地学演習 | | 61 啓林館 | 地基 308 | 地学基礎 改訂版 | ◎ | ○ | | | ○ | 選定 | 基礎・基本の定着を図ることができるよう、学習内容の冒頭で学習内容に関連した話題を示すとともに単元の目標を示している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 保健体育 | 保健 | | 50 大修館 | 保体 701 | 現代高等保健体育 | | | ○ | | ○◎ | 選定 | 発展的な内容を学習できるよう、学習内容の背景を理解できる読み物「健康のとなえ」の歴史を振り返ってみよう」「過去の公害を振り返ってみよう」などを設けている。 |
| | | | | 183 第一 | 保体 703 704 | 高等学校 保健体育 Textbook Activity | | | ○ | | ○ | | |
| ② | 保健体育 | 保健 | | 50 大修館 | 保体 701 | 現代高等保健体育 | | | ○ | | ○◎ | 選定 | 発展的な内容を学習できるよう、学習内容の背景を理解できる読み物「健康のとなえ」の歴史を振り返ってみよう」などを設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 芸術 | 音楽 I | | 27 教芸 | 音 I 703 | MOUSA1 | | ◎ | | | ○ | 選定 | 生徒の興味・関心を高められること、音楽を鑑賞する際の着眼点を具体的に示した「鑑賞のポイント」を設けている。 |
| | | | | 89 友社 | 音 I 704 | ON! 1 | | | ○ | | | | |
| 1 | 芸術 | 美術 I | | 116 日文 | 美 I 702 | 高校生の美術1 | | ◎ | | | ○ | 選定 | 生徒の興味・関心を高められること、学習ポイント、「学びの目標」、「学習ポイント」、「関連ページへのリンク」などを設けている。 |
| | | | | 38 光村 | 美 I 701 | 美術1 | | | ○ | | | | |

(様式3)

令和4年7月12日

広島市教育長 様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 徳丸 憲之

令和5年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その11)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新規の選定 | 発行者の番号、略称 | 教科書の記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|-----|----------------|-------|-----------|-----------|--|-------|------|-----|------|----|--|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | | |
| 1 | 芸術 | 書道 I | | 17 教出 | 書 I 704 | 書道 I | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | 生徒の興味・関心を高めることができるよう、巻頭に日本の書と中国の書を分かりやすく示した、「書の世界へようこそ」を設けている。 |
| | | | | 38 光村 | 書 I 705 | 書 I | ○ | | | | | |
| ③ | 芸術 | 音楽表現 | | 27 教芸 | 音 I 310 | MOUSA1 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | 生徒の興味・関心を高めることができるよう、音楽を鑑賞する際の着眼点を具体的に示した「鑑賞のポイント」を設けている。 |
| | | | | 116 日文 | 美 I 305 | 高校生の美術1 | ◎ | ○ | | | | |
| ③ | 芸術 | 書道表現 | | 2 東書 | 書 I 305 | 書道 I | ○ | ◎ | | | ○ | 生徒が長通しを持って学習に取り組むことができるよう、写真の配列を工夫した「創作の手順」を適宜示している。 |
| | | | | 61 啓林館 | C1 712 | ELEMENT English Communication I | | ○ | ○ | ◎ | | |
| 1 | 外国語 | 英語コミュニケーション I | 新規 | 183 第一 | C1 722 | Vivid English Communication I | | | ○ | ○ | ○ | ねらいに応じた言語活動を設定して生徒の思考力・判断力・表現力を高めることができるよう、各課の終わりに「Speaking」と「Writing」を設定している。 |
| | | | | 2 東書 | CII 703 | ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION II | | | ○ | ○ | ◎ | |
| 2 | 外国語 | 英語コミュニケーション II | 新規 | 9 開隆堂 | CII 706 | Ambition English Communication II | | | | ○ | ○ | ねらいに応じた言語活動を設定して生徒の発信力を高めることができるよう、各課の終わりに「Unit Activity」を設定している。 |
| | | | | | | | | | | | | |

(様式3)

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

令和4年7月12日

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 徳丸 憲之

令和5年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その12)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新規の選定 | 発行者の番号、略称 | 教科書の記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選定の理由 | | |
|----|-----|----------------|-------|-----------|-----------|--|-------|------|-----|-----|-----|----|-------|------|--|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現等 | 資料等 | | | 評価活動 | 発展 |
| 1 | 外国語 | 論理・表現 I | 新規 | 212 桐原 | 論 I 714 | FACTBOOK English Logic and Expression I | | | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | 選定 | 「書くこと」や「話すこと」に係る能力を言語活動を通して伸ばすことができるよう、各課に「Speak Again」や「Write More +」を設定している。 |
| | | | | 15 三省堂 | 論 I 704 | CROWN Logic and Expression I | | | ○ | | | | ○ | | |
| 2 | 外国語 | 論理・表現 II | 新規 | 231 いわずな | 論 II 716 | be English Logic and Expression II Clear | | | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | 選定 | 「書くこと」や「話すこと」に係る英語を論理的に発信する能力を言語活動を通して伸ばすことができるよう、各課に「Active Learning」を設定している。 |
| | | | | 15 三省堂 | 論 II 704 | CROWN Logic and Expression II | | | ○ | | | | ○ | | |
| 2 | 外国語 | 論理・表現 II | 新規 | 231 いわずな | 論 II 717 | be English Logic and Expression II Smart | | | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | 選定 | 「書くこと」や「話すこと」に係る英語を論理的に発信する能力を言語活動を通して伸ばすことができるよう、各課に「Active Learning」を設定している。 |
| | | | | 15 三省堂 | 論 II 704 | CROWN Logic and Expression II | | | ○ | | | | ○ | | |
| 3 | 外国語 | コミュニケーション英語III | | 104 数研 | ⅡⅢ 337 | Revised POLESTAR English Communication III | | | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | 選定 | 本文の内容理解をした後で自らの思いや考えを英語で表現する言語活動に取り組むことができるよう、各課に「Discussion/Debate」を設定している。 |
| | | | | 50 大修館 | ⅡⅢ 333 | Genius English Communication III Revised | | | | | | | ○ | | |
| ③ | 外国語 | 英語表現 II | | 231 いわずな | 英 II 332 | be English Expression II | | | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | 選定 | 英語で表現するために必要な文法の知識を理解・定着させた後に発信能力を高めることができるよう、各課の終わりにおいて「Practice」を設けている。 |
| | | | | 50 大修館 | Ⅱ 336 | Genius English Communication II Revised | | | | | | | ○ | ○ | |
| ③ | 外国語 | 英語講読 | | | | | | | | | | | | 選定 | 言語活動を通してバランスよく4技能の能力を伸ばすことができるよう、各課に「Communication Activities」を設定している。 |

(様式3)

令和4年7月12日

広島市教育長様
(学校教育指導第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 徳丸 憲之

令和5年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その13)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新規の選定 | 発行者の番号、略称 | 教科書の記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|-----|------------|-------|-----------|-------------|--------------------------|-------|------|-----|------|------|----|---|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | 習熟活動 | | |
| 1 | 家庭 | 家庭基礎 | | 2 東書 | 家基 701 | 家庭基礎 自立・共生・創造 | ◎ | ○ | ○ | | | 選定 | 問題解決的な学習を行うことができるよう、学習内容について調べたり、深めたり、実践に結びつけたりする「TRY」を設けている。 |
| | | | | 6 教図 | 家基 702 | 未来へつなぐ 家庭基礎365 | ○ | | ○ | | | | |
| ③ | 家庭 | 家庭基礎 研究 | | 7 実教 | 家基 314 | 新家庭基礎 パートナーシップ でつくる未来 | ◎ | ○ | ○ | | | 選定 | 問題解決的な学習を行うことができるよう、章末に「WORLD NOTE」を設け、各章の内容に関連する課題を例示している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 情報 | 情報 I | 新規 | 2 東書 | 情報 I 702 | 情報 I Step Forward! | ◎ | ○ | ○ | | | 選定 | 生徒が自ら学ぶ意欲を育成することができるよう、各章末に「私の問題解決」を設けたり、本文から一歩進んだ内容を取り上げた「プラスワン」を設けたりしている。 |
| | | | | 116 日文 | 情報 I 710 | 情報 I | ○ | | ○ | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

(様式4)

広島市立基町高等学校令和5年度使用教科用図書選定委員会規約

(設置)

第1条 広島市立高等学校、中等教育学校（後期課程）（以下「学校」という。）において使用する教科用図書の選定について審議するため、広島市立基町高等学校令和5年度使用教科用図書選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 選定委員会は、委員8人をもって組織する。

(委員)

第3条 次に掲げる者を委員とする。

- (1) 学校の校長・教頭・事務長・教務主任
 - (2) 保護者代表・学校運営協議会委員（代表可）・学識経験者
- 2 委員の任命及び委嘱は校長が行う。
 - 3 委員の任期は、委員会の開催日から開催年の8月末日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 選定委員会には、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、校長とする。
- 3 副委員長は、委員の互選によってこれを定める。
- 4 委員長は、会務を掌理し、選定委員会を代表する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 選定委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 選定委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 選定の内容については、教科用図書を採択する教育委員会の会議が開催されるまで非公開とする。

(調査員)

第6条 選定委員会に、専門の事項を調査させるため、調査員を置く。

- 2 調査員は、学校の教諭のうちから、校長が任命する。

(庶務)

第7条 選定委員会の庶務は、広島市立基町高等学校において処理する。

(委任規定)

第8条 この規約に定めるもののほか、選定委員会の運営に関し必要な事項は、校長が定める。

附 則

この規約は、令和4年6月2日から施行する。